



尼崎・玉江橋付近を走る201形 (1975年3月4日)

阪神電鉄が1905年4月12日、神戸(三宮)―大阪(出入橋)間の鉄道営業を開始してから、今年開業120周年を迎える。阪神甲子園球場の開設、六甲山上の開発などレジャー事業にも注力し、沿線の人口、集客増に貢献してきた。同球場がある西宮市、創業時に本社を置くなどした尼崎市。それぞれゆかりがある海洋冒険家の堀江謙一さんと、漫画家の尼子騒兵衛さんに阪神電鉄との関わりや思い出について聞いた。



第1回 (4回続きシリーズ)

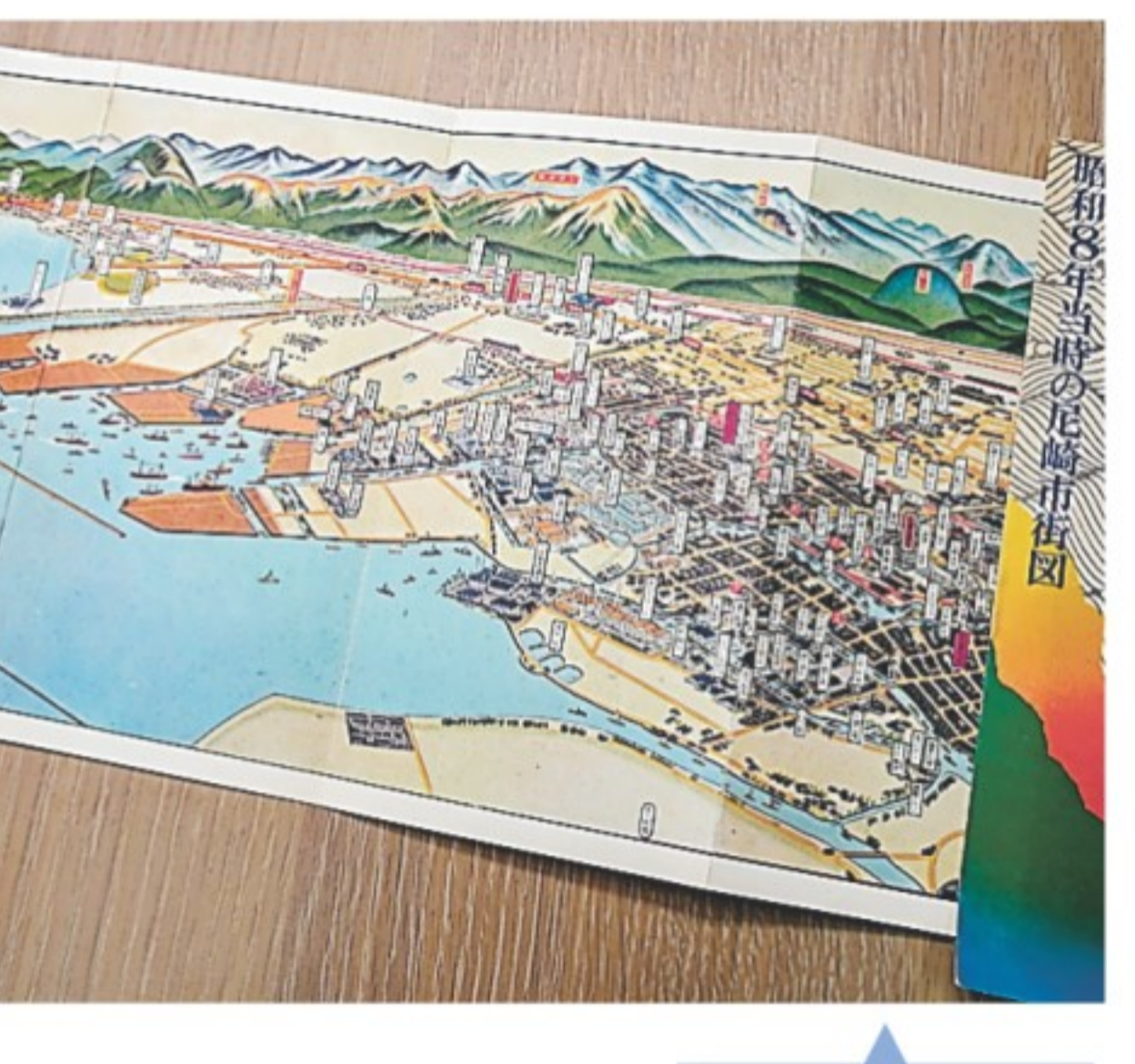
# 感性磨いた日々 身近に



## 漫画家 尼子 騒兵衛 さん

「阪神電車の思い出は、(笑) (女忍者) などで年齢は言えませんが、尼崎城に近い築地で生まれ育ちました。最寄り駅は尼崎駅。だから「電車」と言えば阪神電車でした。子どもの頃には家族で阪神パークに行ったり、夏にはお弁当を作って電車で武庫川駅まで行って泳いだり。昔は武庫川で泳いだんですよ。母が熱心な阪神ファンで、そのまま甲子園球場に野球観戦へ、というも度々でした。尼崎って大阪にも神戸にも京都にもすぐ行けて、大都会ほど下町でも古都ほどエ

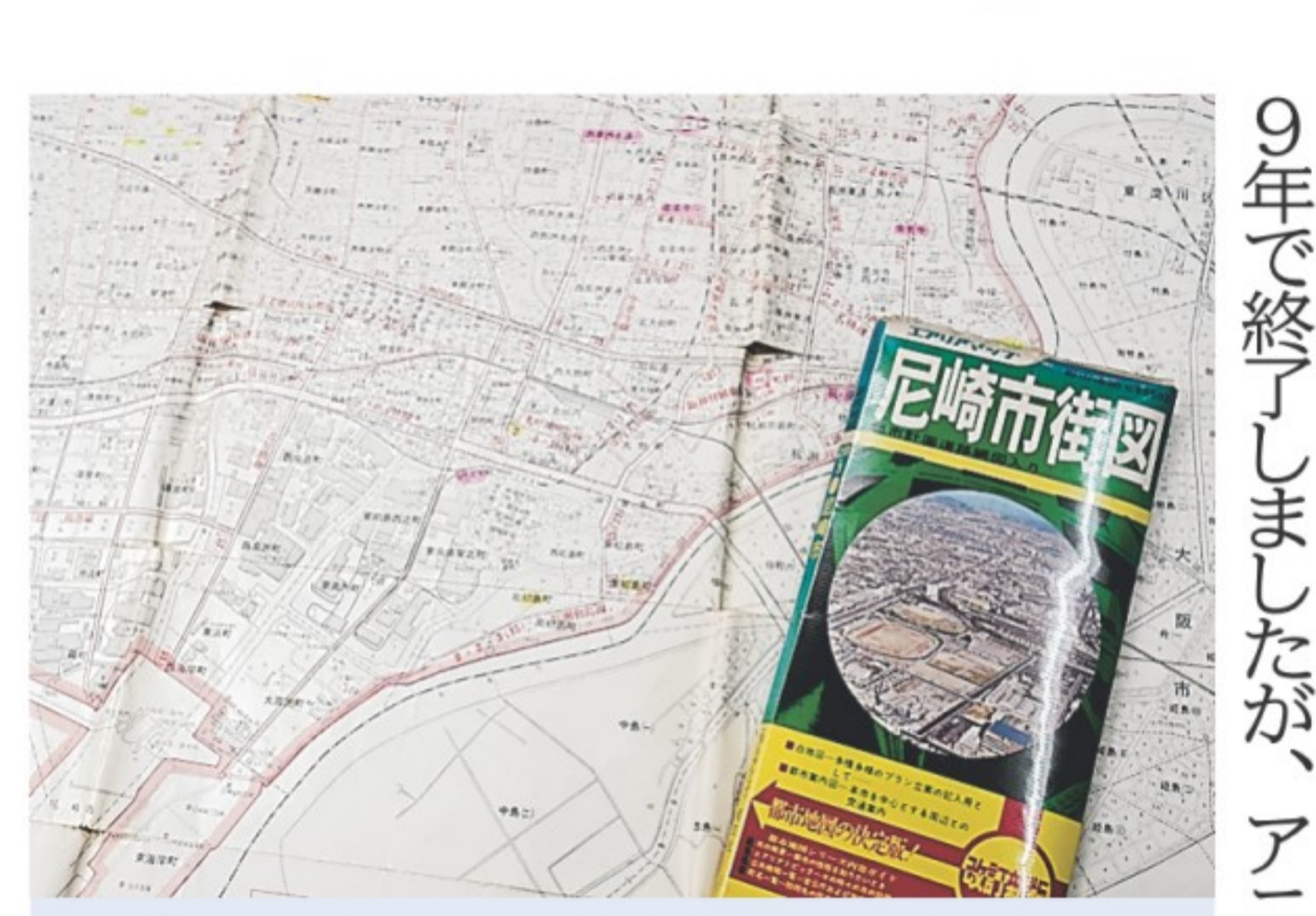
「阪神電車の思い出は、(笑) (女忍者) などで年齢は言えませんが、尼崎城に近い築地で生まれ育ちました。最寄り駅は尼崎駅。だから「電車」と言えば阪神電車でした。子どもの頃には家族で阪神パークに行ったり、夏にはお弁当を作って電車で武庫川駅まで行って泳いだり。昔は武庫川で泳いだんですよ。母が熱心な阪神ファンで、そのまま甲子園球場に野球観戦へ、というも度々でした。尼崎って大阪にも神戸にも京都にもすぐ行けて、大都会ほど下町でも古都ほどエ



## 「阪神」に乗ってお出かけ

尼子さんが創作の参考にしていく「阪神の古い地図」

「乱太郎」も尼崎から生まれた。そんな尼崎の地名がキャラクターの名の由来になったのが、1986年に連載が始まった漫画「落第忍者乱太郎」です。元々時代劇や歴史が好きで、尼崎の古地図を眺めていると「時代劇にぴったりの地名が多いな」と気付いたんです。城下町だった阪神沿線にとまらざる。



## 「乱太郎」通じ歴史に興味を



「落第忍者乱太郎」に登場する兵庫水軍の海賊たち。原画とラフスケッチ

## 海洋冒険家 堀江 謙一 さん



「数多くの冒険的航海を成し遂げてきた。その原動力は、僕のヨット人生は1954年に開大―高の大阪府吹田市のヨット部に入ったことから始まり、それから西宮で練習するようになった。専門誌を讀んでいると太平洋横断、世界一周の話が載っていて、海への向こうの土地に行きたいという気持ちが募った。62年にヨットでは世界初単独無寄港太平洋横断を成し遂げた時、これ以上のものはないと思っていた。ところが、その後イギリス人が単独ワンストップ(一カ所だけ寄港)世界一周をしたという話を聞



単独無寄港太平洋横断を達成し、大勢の人たちに迎えられるヨットハーバー

## 車窓から波を確認し港へ

「阪神電車に乗っての思い出は、開大―高のあった千里山から阪急電車と梅田にいったん出て、そこから阪神電車に乗り換えて西宮に向かった。電車の中では必ず立って海側の風景を見ていた。特に淀川橋梁を渡る時には、河口側に見える海の波の様子を見て風具合をつかみ、試合があ

## 100歳までヨットで挑戦



「2度目の単独無寄港世界一周を達成した時(2005年6月)のヨット。現在新西宮ヨットハーバーに永久展示されている

## 阪神電鉄ダイアリー Hanshin

1964年2月9日 開業58年目

阪神本線と伝法線が高架化された翌年から約2年半、西九条―元町間を運行していた特急電車

伝法線の尼崎高架線が開通。名神尼崎インターと尼崎港を結ぶ主要道路上の踏切を除去するため、県と市と共に阪神本線と伝法線を高架化しました。このとき両線を直通できる配線に変更し、翌年、西九条―元町間を28分で結ぶ西大阪線特急が誕生しました。

### 1905～

#### 電気鉄道の先駆けとなる 新たなビジネスモデルへの挑戦

日本で初めて「都市間を軌道高速の電気鉄道で結ぶ」というビジネスモデルに挑んだ阪神電気鉄道。当時の日本は、日清戦争後の反動的不況で不安定な時代でしたが、人々のより良い暮らしのために電気鉄道をはじめとした近代的生活様式への移行が必要と信じて工事を推進。「電気」という新しいエネルギーを用いた鉄道、大型ボギー車によるフリーレントサービスによって、大阪～神戸間を結びました。

#### 電気鉄道を表すシンプルな社章

阪神電気鉄道の社章は、レールの断面を稲妻で囲むデザインで、電気鉄道の意味を簡明に象徴しています。阪神電車の開業当時、鉄道と言えば蒸気鉄道であり、電気鉄道は小型の市内電車や短距離の遊覧電車のみでした。日本で初めて、本格的な広軌高速による都市間大型電車を運行した会社として、電気鉄道であることを表す以外に、他社との識別の必要がなかった当時の特色がうかがわれる社章となっています。

旧1形(1906年)

### ～2025 to the future

#### 私たちが届けてきた 『先進性』とは

120年ずっと、想いはひとつ

今も昔も阪神電車らしい「先進性」を追求

阪神電車は、短い駅間の走行に適した高加速度のジェット・カーの開発、大手私鉄初の全車両冷房化など、一歩進んだ「先進性」をお届けしてきました。5700系車両の立ち座りがしやすい「ちよい乗シート」もその1つ。2025年4月からは、関西の鉄道会社では初めて、全線において実質的にCO<sub>2</sub>排出量をゼロとするカーボンニュートラル運行を開始。これからも、阪神電車らしい「先進性」を追求していきます。

5700系(2024年)

### Hankyu Hanshin Toho Group

#### 「たいせつ」がギュッと。

Hanshin Group

阪神電車が1905年に開業して120年。お客さまの「たいせつ」に向き合い「阪神らしさ」を育んできました。つながりが生む「あたたかさ」。プロフェッショナルが生み出す「ほんまもん」。共感から生まれる「先進性」。お客さまの「たいせつ」がギュッと。つまったモノやコトを生み出しお届けしていく。阪神グループの物語がここにあります。

詳しくはこちら